

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

別添1 (期間G、緊急事態措置用)

店舗ごとの協力金支給申請額計算書

店舗名 (屋号)	
----------	--

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

中小企業又は個人事業主ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。
ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい

いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの9月の売上高は1日あたり10万円を超えますか？
(1日あたりの売上高 = 9月の売上高の合計 ÷ 30)

売上高減少方式で申請 (裏面へ進みます)

はい

いいえ又は不明

令和元年又は令和2年いずれかの9月と令和3年の9月の売上高減少額が1日あたり25万円を超えている場合は、売上高減少方式も選択可能です。

支給額は1日あたり4万円です。
以下を記入して支給額を確定してください。

時短協力日数	当該店舗への支給額
40,000円 × 18日	720,000円

上記内容で申請します (確定申告等の写しは不要)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年9月の売上高	
① 円	円

① 円 ÷ 30日 × 0.4 = ② 円

※確定申告書等の写しが必要です。

千円未満切上

1日あたりの支給単価
③ 円

※最大10万円

1日あたりの支給単価	時短協力日数	当該店舗の支給額
③ 円	④ 18日	⑤ 円

上記内容で申請します

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記後、併せてご提出ください。

【売上高減少方式】 ※売上高は、飲食部門における消費税及び地方消費税を除いた金額とすること。

令和元年又は令和2年いずれかの9月と比べて
令和3年9月の売上高は減少していますか？

はい

いいえ

申請できません
(中小企業者等の場合は、売上高方式(前頁)により申請できます)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和元年又は令和2年9月の売上高

令和3年9月の売上高

① 円 - ② 円 = ③ 円

③ 円 ÷ 30 日 × 0.4 = ④ 円

千円未満切上

1日あたりの支給単価

※最大20万円

⑤ 円

1日あたりの支給単価

時短協力日数

当該店舗の支給額

⑤ 円 × ⑥ 18 日 = ⑦ 円

上記内容で申請します